

丹波山村の教育支援

丹波山村では様々な教育援助・支援を行っています。

【義務教育費】 完全無償化

学校で使用する問題集などの教材や修学旅行・宿泊行事にかかる費用は**村が負担**します。

【学校給食費】 無料

学校で食べる給食費は**村が負担**します。
しかも、できたてのホッカホカ・アツアツです。旬のときには村の食材を使います。

【子ども医療費】 全額補助

0歳から中学3年生まで、病気などにかかる費用は**無料**です。

【住宅支援】

定住促進住宅があります。
費用は月 15,000 円～20,000 円です。



【保育所】 保育費無料

【ほっとサポート】

スクールカウンセラー以外にも臨床心理士が子育てで困っていることなど悩み相談に応じます。



親子山村留学の手続き

1 教育委員会に問い合わせ

親子山村留学希望者は、教育委員会に電話をかけるか、メールで依頼・相談をしてください。

2 体験入学

決められた日時に丹波小学校（丹波中学校）で授業体験・見学を保護者同伴で行います。
泊を伴って希望する場合は施設があります。

3 山村留学決定

山村留学決定者（保護者）には、教育委員会がお知らせします。尚、契約書が2部必要になります。



お問い合わせは教育委員会まで

〒409-0305
山梨県北都留郡丹波山村 890
☎ 0428-88-0211

kyoiku@vill.tabayama.yamanashi.jp

ホームページもご覧ください



丹波山村 親子山村留学

子育てするなら 丹波山村で



小さな村でスクスク大きく育つ



親子山村留学とは

平成4年度から行っている『丹波山村親子山村留学』は、「小さな村で自然豊かな中ですくすくと大きく育てたい」と考えているご家族をサポートする制度です。丹波山村の山村留学は『親子留学』を基本とし、保護者とともに丹波山村へ移住していただきます。

令和2年度までに80人以上の子どもが丹波山村の小中学校で学んでいます。

丹波小・中学校の特色

丹波山村は1村1小中学校で、丹波小学校と丹波中学校があります。

特色1 ICT教育

平成26年度から子ども一人1台iPadを貸与しています。授業では、入手した情報を比較・関連付け・総合しながら再構成する学習や考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合いお互いの考えを深めていく学習を通して、基礎的な知識が習得でき、思考力・判断力・表現力も高まります。



【オンライン授業の様子】

また、クラスに1台電子黒板があり、授業だけでなく、近隣の小中学校や他県の小中学校の交流にも活用しています。



【高知県大川小中学校との交流】

特色2 体験活動

丹波山村は、東京都・埼玉県と隣接し、多摩川の源流である丹波川と雲取山・飛龍山・大菩薩嶺などの山々に囲まれた自然豊かな村です。



そのため、自然を生かした活動が多くあります。6月には全校登山があり、大菩薩嶺などの近隣の山に登ります。



8月には小中合同で丹波川をカヌーで下ったり、樹木を切り木材を加工したりする自然体験を実施しています。



他にも、舞茸栽培や味噌づくりなどの体験活動があります。自然で体験することによって教室では得られない「知」の習得や達成感など豊かな人間性が形成されます。

全国でもめずらしい活動 選書会

図書室も充実しています。丹波小学校には5699冊、丹波中学校には6927冊の蔵書があり、読書活動も盛んです。

特に、年1回PTA主催による「子どもたちに読ませたい本」「子どもたちが読みたい本」を地域の人とともに親子が選ぶ会（選書会）があります。この活動は、全国でもめずらしい活動で、令和2年度日本PTA協議会会長賞を受賞しました。読書を通して、想像力などを育てています。



これから始まる教育施策

コミュニティ・スクール

地域の方は協力的で教育活動に手を貸してくれます。この力を活かして、令和4年度から「地域とともにある学校」（コミュニティ・スクール）になります。つまり、地域人材が学校を今以上に支援してくれます。

【舞茸栽培】

丹波山村の特産品である「舞茸」を伏せ込みから収穫・販売までを地域の人と行います。



【ささら獅子舞】

江戸時代から350年の歴史を誇る獅子舞。令和3年度、文化財保存会が子どもたちに1本ずつ篠笛を寄贈し、音楽の授業や体育の授業で指導します。その成果を小中合同運動会で発表します。



【高齢者との交流】

毎年、老人クラブの人が花植に協力してくれます。咲いた花を一人世帯や高齢者の家に配ります。

また、老人クラブの人は「あいさつ運動」にも参加してくれます。

